

駒ヶ根市民報

No.1372
2016.12.04
日本共産党
駒ヶ根市委員会
Tel 83-2969

駒ヶ根市議会12月定例会開会

今年も早いもので師走を迎え、市議会では今年を締めくくると12月議会が開催されています。

駒ヶ根市議会第5回(12月)

定例会日程

○11月24日(木)

市議会開会 提案説明

質疑。一般質問通告

○25日(金)質問リヤリング

12月

○5日(月)一般質問

6日(火)一般質問

午前10時から

○7日(水)総務委員会

○8日(木)建設産業委員会

○9日(金)教育民生委員会

夫々午前9時から

○12日 予備日

○15日(木)本会議最終日

質疑、討論、採決

午前10時から



12月議会は、11月24日～12月15日までの22日間。

審議案件について

専決処分1件、条例7件、補正予算8件、事件2件の計18件上程されました。

専決処分では、市道(中沢)における物損事故(落石に接触)に係る損害賠償の額を定める報告について。

条例では、駒ヶ根市議会の議員報酬等及び特別職の職員等の給与に関する条例は期末手当額の改定。

駒ヶ根市一般職職員の給与に関する条例の一部改正では、国家公務員給与改定に準じて一般職の給与月額、期末勤勉手当の改定。

農業委員会に関する条例改定では、農業委員の定数の変更および部会の廃止及び農地利用最適会員「新設」による報酬区分の変更、および承認参考人等の費用弁償の支給に関するものです。

28年度補正予算では、

国の補正予算内示に対応した歳入歳出11億7千万円の補正は、国庫支出金が付いた等により、道路新設改良等、橋梁維持で6億7900万円。都市計画街路スマートインター等で6300万円、東中学校特別教室棟改築、体育館吊天井耐震化で2億7300万円。臨時福祉給付金1万5000円×6000人で9800万円等の事業の補正が組まれました。

国庫の事業採択等に対応した事業費の追加および給与改定に伴う3300万円程の補正は、病児病後児保育事業の拡大(400人→570人)340万円。地域子育て拠点支援事業に830万円、地域営農推進事業に770万円。特別職の期末手当改定分に95万円。一般職給与期末手当改定に1千万円等。

事件では、公の施設の指定管理者の指定について駒ヶ根市駅前ビル「市民交流活性化センター」、駒ヶ根駅前駐車場を(株)シナノ総合サービスに。

指定期間の変更は、駒ヶ根市老人憩いの家福寿荘を廃止する為、指定期間の短縮平成29年3月31日迄。
市道路線の認定については、1-1-110号線及び1-1-111号線。

12月議会一般質問

12月議会の一一般質問は定数15名に対し12名が質問します。日本共産党議員の一一般質問は、竹村ほまれ議員(5日)が要支援妻介護の保険給付外しや年金削減等、社会保障削減路線の見解と対応を、3か年計画で事業見直しを検討される9事業扶助費の削減等)に対し市側の態度を質します。

坂本やすひこ議員(6日)に事業者の適正な労働環境を確保するための公契約条例の制定について。農業委員の定数削減等新制度移行への懸念について。前倒し補正による財政への影響について夫々質問を致します。

共産党議員の一一般質問

☆竹村 ほまれ議員

12月5日(月) 3番目

午後1時頃

- ① ぐらぐら破壊の社会保障削減路線を問う
- ② 3か年計画で見直しとされる事業の縮小・廃止の根拠は

☆坂本やすひこ議員

12月6日(火) 4番目

午後2時頃

- ① 公契約条例を制定していく「J」が必用では
- ② 農業委員会委員の定数削減は機能低下にならないか
- ③ 前倒しの補正予算と財政運営への影響は

◆請願・陳情(審査のみ掲載)

請願

▽免税軽油制度の継続を求める請願書

請願人中央アルプス観光株式会社
紹介議員 岩崎 康男

陳情

▽建設業に関する要望書
駒ヶ根建設業組合

▽給付型奨学金制度の創設等を求める意見書 決議)の採択を求める陳情
長野県連合会 上伊那地域協議会

▽国に対して誰もが安心して利用できる医療介護の実現を求める意見書)の提出を求める陳情書
上伊那医療生協駒ヶ根支部

▽放射性廃棄物を全国に拡散させないよう求める陳情
駒ヶ根の環境を守る会

▽立憲主義全否定の自民党草案を持ち込む憲法審査会の審議中止を求める陳情
平和って何だ「伊那谷

▽駆け付け警護「付与の閣議決定を撤回し南スーダンPKOから撤退を求める陳情
平和って何だ「伊那谷

※共産党議員団は請願・陳情・審査分(全)に対して審議を促す中、ご質問・陳情者の願いが反映されるよう力を尽くします。

